

「新しい東北」官民連携推進協議会

令和元年度 福島県意見交換会(第2回)

事務局提出資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

2019年9月10日

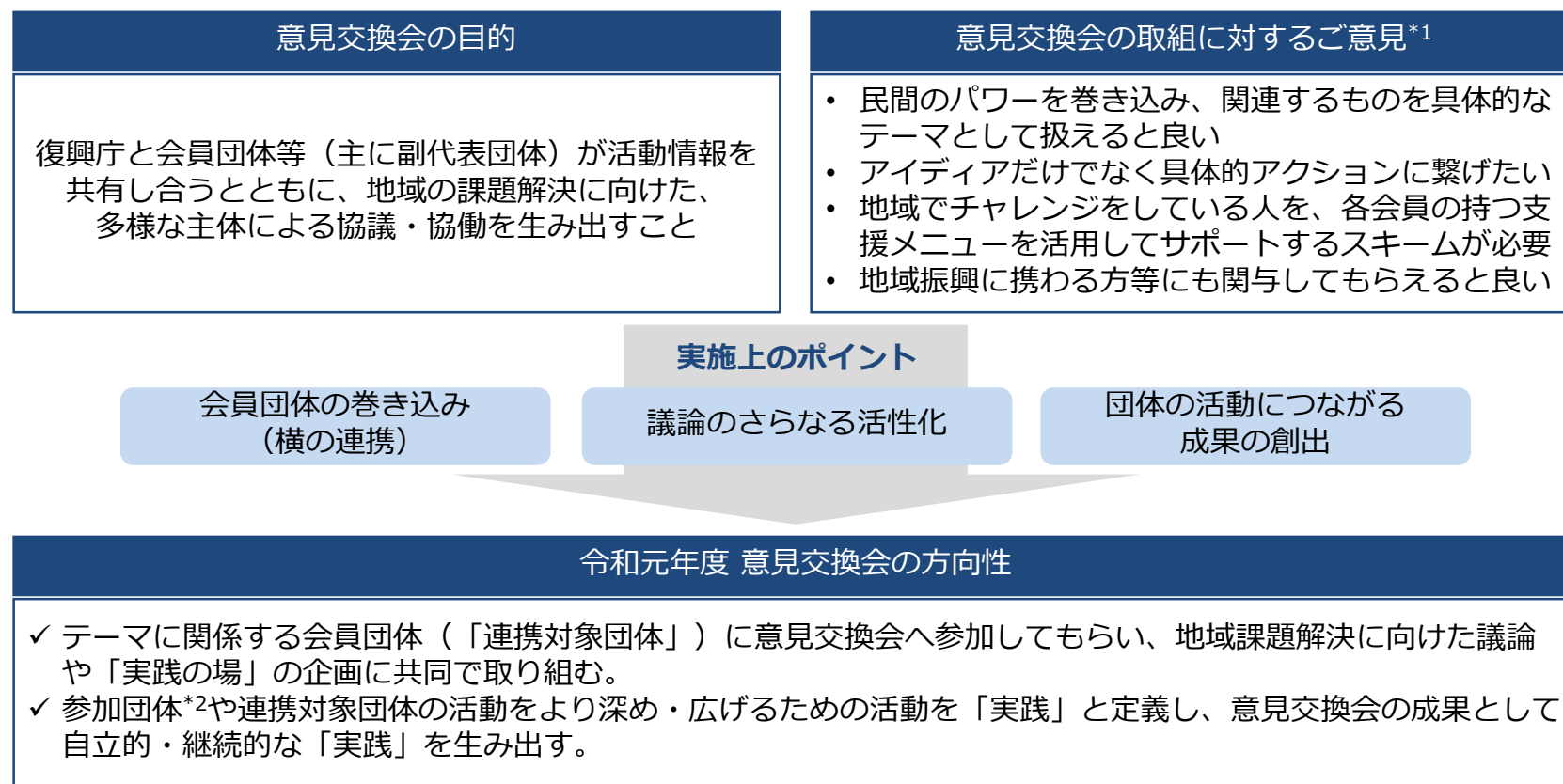
1. 意見交換会の概要
2. 第1回意見交換会・事後調整の結果
3. 第2回意見交換会の検討事項
4. スケジュール

<参考資料>

- ・ 岩手県意見交換会の検討事項
- ・ 宮城県意見交換会の検討事項

本協議会では意見交換会を、復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を互いに共有し、地域の課題解決に向けて協議・協働を生み出す場と位置付けています。

今年度は特に、副代表団体以外の会員団体の巻き込み・議論の活性化・団体の活動につながる成果創出に注力します。



*1: 3県の第3回意見交換会内の発言を一部引用

*2: 副代表団体およびオブザーバーとして参加いただく団体

過去2年間の意見交換会では、地場産業等の人材不足対応策（特に、暮らし方・働き方の理解促進）をテーマに議論を展開。

今年度以降もテーマは継続し、取組を拡大・深掘りすることが必要、との意見が挙がっておりました。

平成29年度

人材×日本酒

第1回	<ul style="list-style-type: none"> 趣旨説明 活動紹介
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 テーマ議論
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 テーマ議論
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 調査内容の検討
福島県産品・伝統工芸品のPR	
第5回	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 調査結果を議論 来年度テーマの検討

平成30年度

食・観光・伝統工芸など 地場産業の担い手確保

第1回	<ul style="list-style-type: none"> 趣旨説明 活動紹介 当年度のテーマの検討
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 テーマ議論 イベント内容の検討
「ふくしまキャリア探求ゼミ」 福島県にU/Iターンをして新たな生活・仕事のスタイルを確立した先駆者の実体験を伝え、理解を深めてもらうためのワークショップ	
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 活動紹介 イベントの振り返り 来年度以降のテーマ案検討

今年度以降のテーマ案

福島県で働く人を増やすため、平成30年度と同様、福島県での暮らし方・働き方に関する理解促進をテーマに取組を行う。これまでの取組との連続性を持たせる。

<取組の具体案>

- よりヒーロー像を広くして「身近なヒーロー」も知ってもらう
（業種・職種、所属組織の規模を変える）
- ヒーロー候補者のリスト化・公表を行い、多くの人に知ってもらう
- 話を聞くだけでなく、現場を見る経験もしてもらう

昨年度同様、全3回の意見交換会と「実践の場」を開催予定です。

テーマに関わりの深い「連携対象団体」に第2回の議論から参画いただくことで、地域でチャレンジしている人を巻き込んだ「実践の場」の企画や、「実践」の継続を目指します。

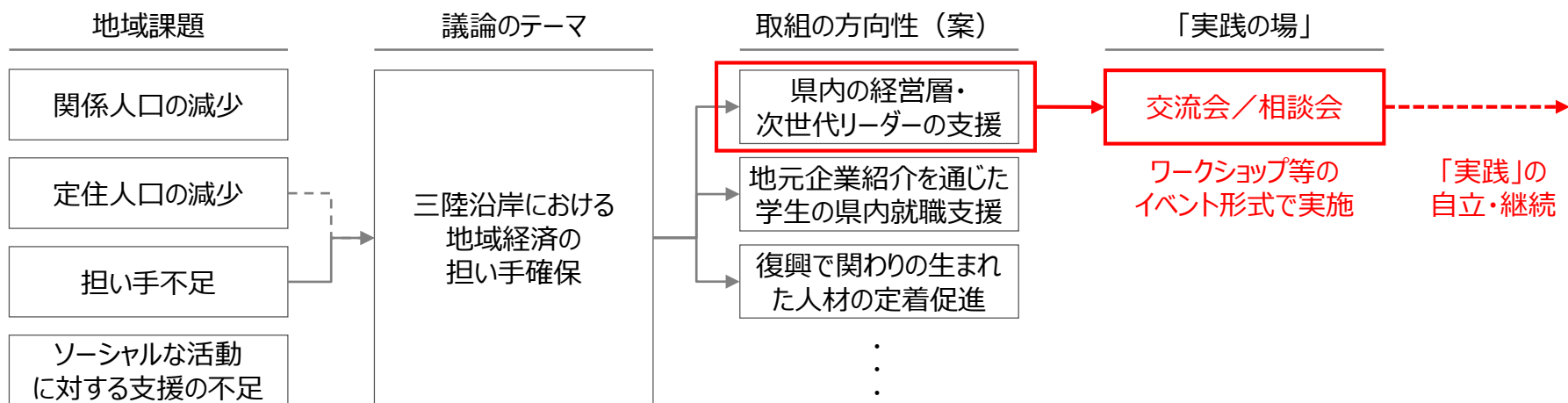
	実施事項（案）	取り組みのポイント
第1回	<ol style="list-style-type: none"> 意見交換会の趣旨、過去経緯（他県含む）の説明 今年度の方針説明 参加団体の今年度活動内容の紹介 今年度テーマの検討（連携対象団体の検討含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマを決定するとともに、第2回以降から参画してもらう連携対象団体についても議論する
第2回	<ol style="list-style-type: none"> 参加団体の活動紹介 連携対象団体によるプレゼンテーション等 テーマ議論 「実践の場」の内容検討 （連携対象団体を企画時から巻き込む） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 連携対象団体より、現在の活動内容やテーマに対する問題意識・展望などについて共有してもらう ✓ 上記を踏まえて、地域でチャレンジをしている人を巻き込んだ「実践の場」や連携の在り方を議論する
実践の場	「実践の場」の詳細設計～開催～結果整理	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会員団体の生業（活動）を深化・拡大させることや、継続的なアクションに繋げることを目的とする
第3回	<ol style="list-style-type: none"> 参加団体の活動紹介 「実践の場」の振り返り、今後の展望の議論 来年度以降のテーマ案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「実践の場」の振り返りに加え、今後の活動や体制を、自立的に継続させるための議論を行う
終了後	「実践」の継続	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意見交換会終了後も「実践」の継続を目指す

● 【参考】「実践の場」について

意見交換会の議論をもとに、地域課題解決に向けた取り組みを試行することが「実践の場」の目的です。
イベント開催に係る費用等を支援いたします。

「実践の場」の概要	
目的	意見交換会の議論の中で挙げた、地域課題解決に向けた取組（解決策）を試行すること
活用できる リソース	ワークショップ等のイベント開催に係る以下については復興庁※が支援する ・ 開催費用（会場費、備品代、外部講師への謝金・交通費など） ・ 集客（協議会ポータルサイト・Facebookページなどを活用） ・ 司会／ファシリテーターの手配

■ 「実践の場」の考え方（イメージ）

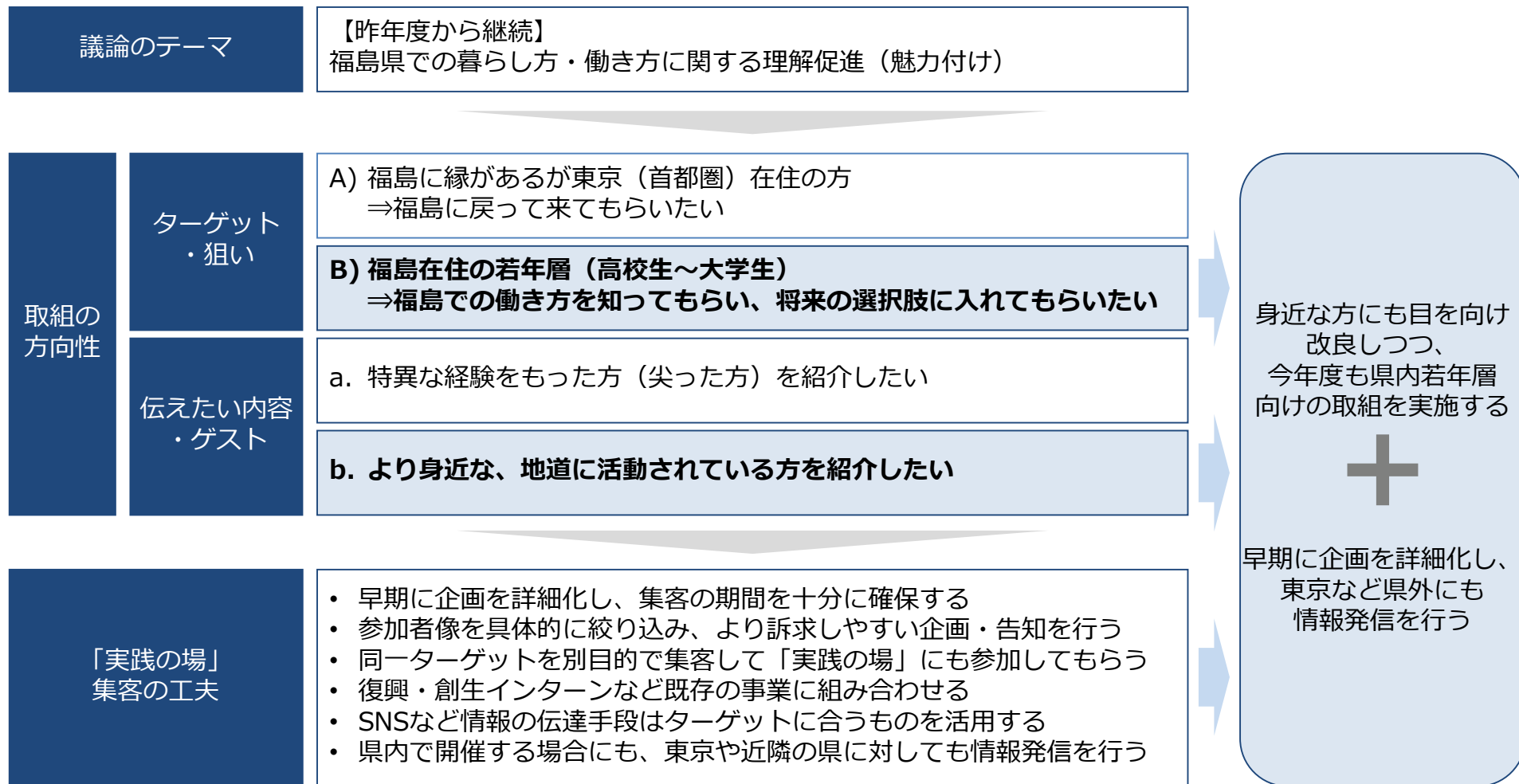


● 2. 第1回意見交換会・事後調整の結果

第1回意見交換会では、テーマを継続することが決定し、取組の方向性について意見交換を行いました。事後ヒアリングを踏まえ、福島在住の若年層向けにより身近な・地道に活動している方を紹介する方向とすることになりました。

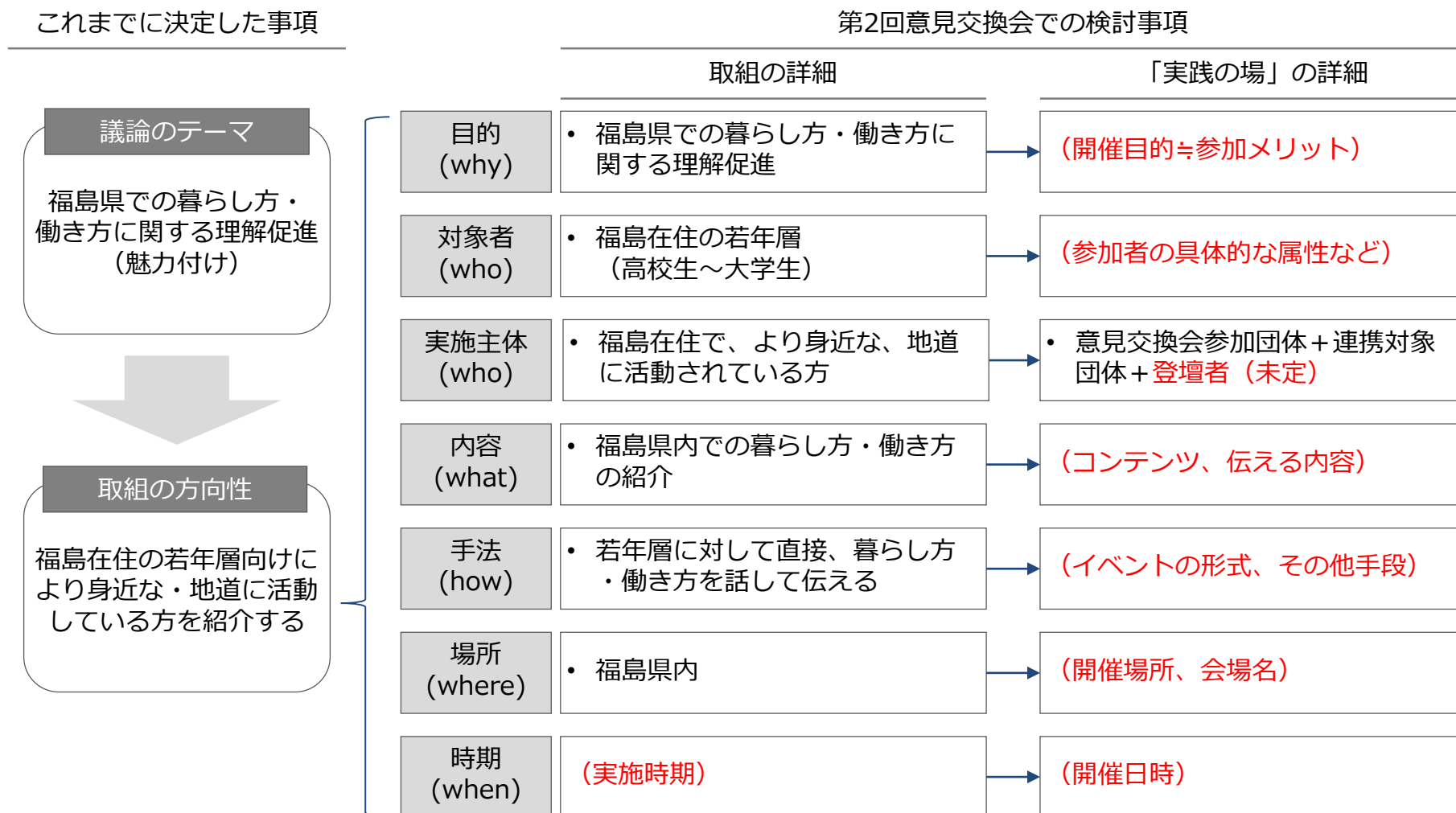
第1回意見交換会で挙げた意見

事後ヒアリングの結果

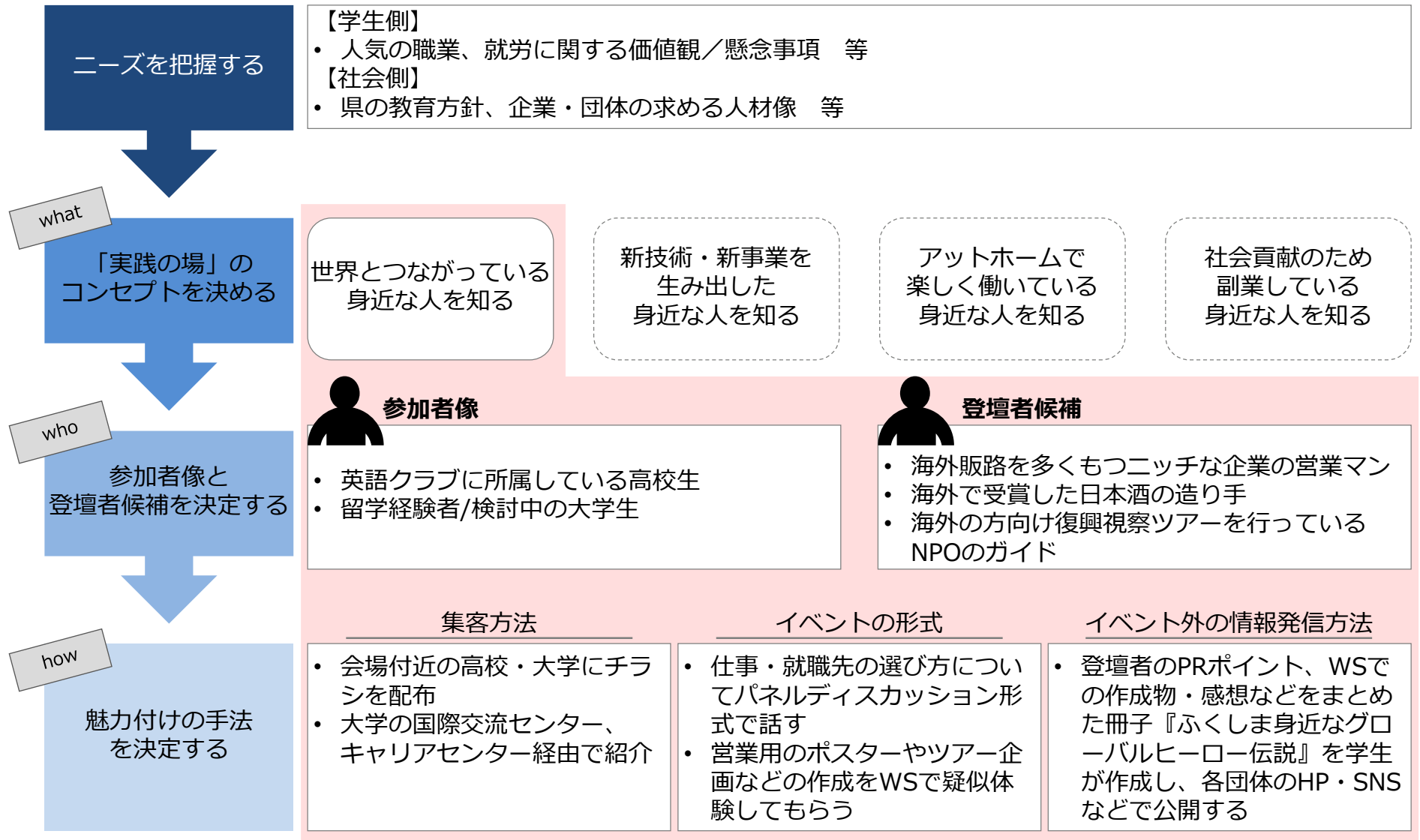


● 3. 第2回意見交換会の検討事項

これまでに決定した内容をもとに、本日はさらに「実践の場」の詳細を検討します。



● 3. 第2回意見交換会の検討事項 — 例：学生と社会のニーズから考える



● 【参考】 学生と社会のニーズ

高校生向けアンケート結果			
■ 人気職業（単一回答）*1		■ 将来働くことについて 気がかりなこと（複数回答）*2	
1. 公務員	5.2%	1. 働きたい職業に就けるか	53%
2. プログラマー	4.7%	2. 十分な収入が得られるか	50%
3. 教師・先生	4.5%	3. 職場の人間関係がうまくいくか	44%
4. 看護師	3.2%	4. 就きたい職業が思いつくか	34%
4. エンジニア・技術者	3.2%	5. そもそも就職できるか	31%

大学生向けアンケート結果			
■ 志望業界（複数回答）*3		■ 職業観（単一回答）*4	
1. 医薬品・医療関連・化粧品	18.5%	1. 楽しく働きたい	38.6%
2. 水産・食品	17.7%	2. 個人の生活と仕事を両立させたい	24.4%
3. 素材・化学	17.2%	3. 人のためになる仕事をしたい	12.1%
4. 調査・コンサルタント	16.8%	4. 自分の夢のために働きたい	10.2%
5. 調査・インターネットサービス	16.7%	5. 収入さえあればいい	5.0%

第6次福島県総合教育計画 *5	
基本理念	“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり
基本目標 1	知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
	① 子どもたちの豊かなこころ
	② 子どもたちの健やかな体
	③ 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」
	④ 望ましい勤労観・職業観
	⑤ 障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」
	⑥ 高度情報化社会を主体的に生きていく力
	⑦ 国際化の進展に対応できる人づくり
	⑧ 公立大学での、社会をリードし、地域に貢献する人づくり

*1：「高校生白書（2018年9月調査）」（学研教育総合研究所、2018年）

*2：「第8回 高校生と保護者の進路に関する意識調査」（一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ、2018年）

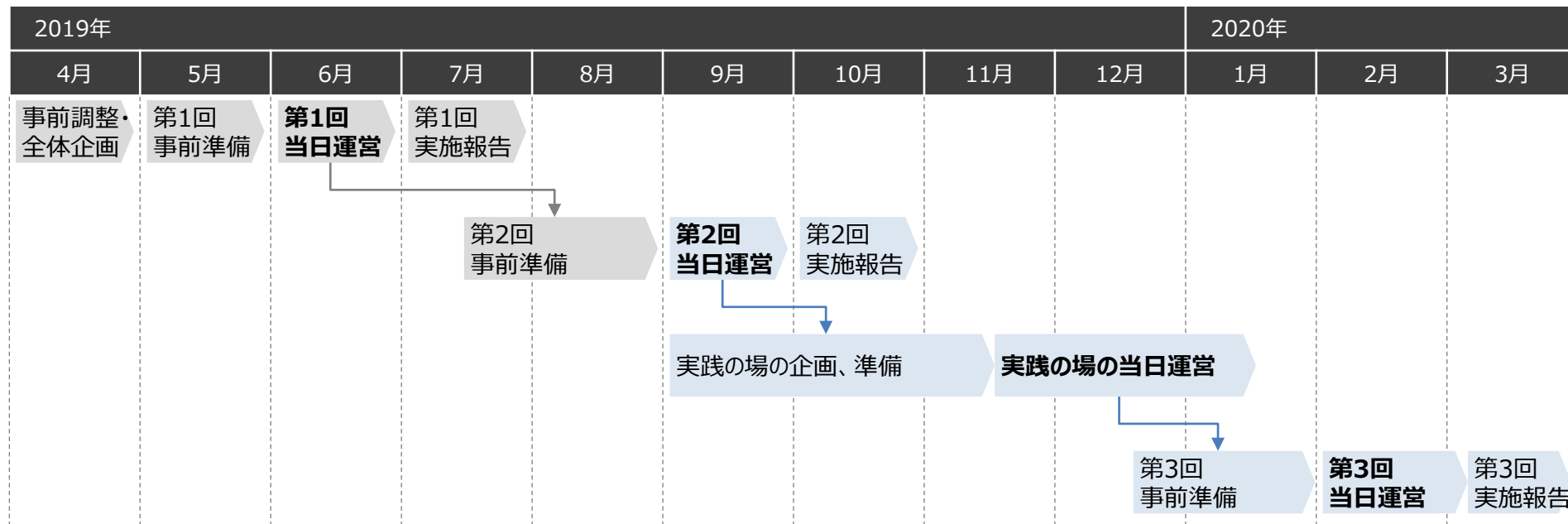
*3：「2020年卒11月後半時点での就職意識調査」（株式会社ディスコ キャリタスリサーチ、2018年）

*4：「2020年卒マイナビ大学生就職意識調査」（株式会社マイナビ、2019年）

*5：「第6次福島県総合教育計画 2019年度アクションプラン」（福島県・福島県教育委員会、2019年）

● 4. スケジュール

意見交換会および実践の場は、以下のスケジュールで推進予定でございます。



(凡例)

完了

未完了

参考資料

● 岩手県意見交換会の検討事項

これまでに決定した事項

議論のテーマ

三陸沿岸における
地域経済の担い手育成※

取組の方向性

支援やネットワークを
まだ活用できていない
県内の経営層・
次世代リーダー向け
交流／相談の場の創出

第2回意見交換会での検討事項

取組の詳細

「実践の場」の詳細

目的
(why)

・ アーリーステージの経営層を支援
することで、担い手の育成に貢献

(開催目的≒参加メリット)

対象者
(who)

・ 支援やネットワークを活用できて
いない経営層・次世代リーダー

(参加者の具体的な属性など)

実施主体
(who)

(取組の実施者)

・ 意見交換会参加団体＋連携
対象団体＋登壇者 (未定)

内容
(what)

(交流や相談を通じて与えるもの
／伝えるもの)

(コンテンツ、伝える内容)

手法
(how)

・ 経営層・次世代リーダー同士の
交流や、支援機関等への相談
の「場」をつくる

(イベントの形式、その他手段)

場所
(where)

・ 三陸沿岸地域

(開催場所、会場名)

時期
(when)

(実施時期)

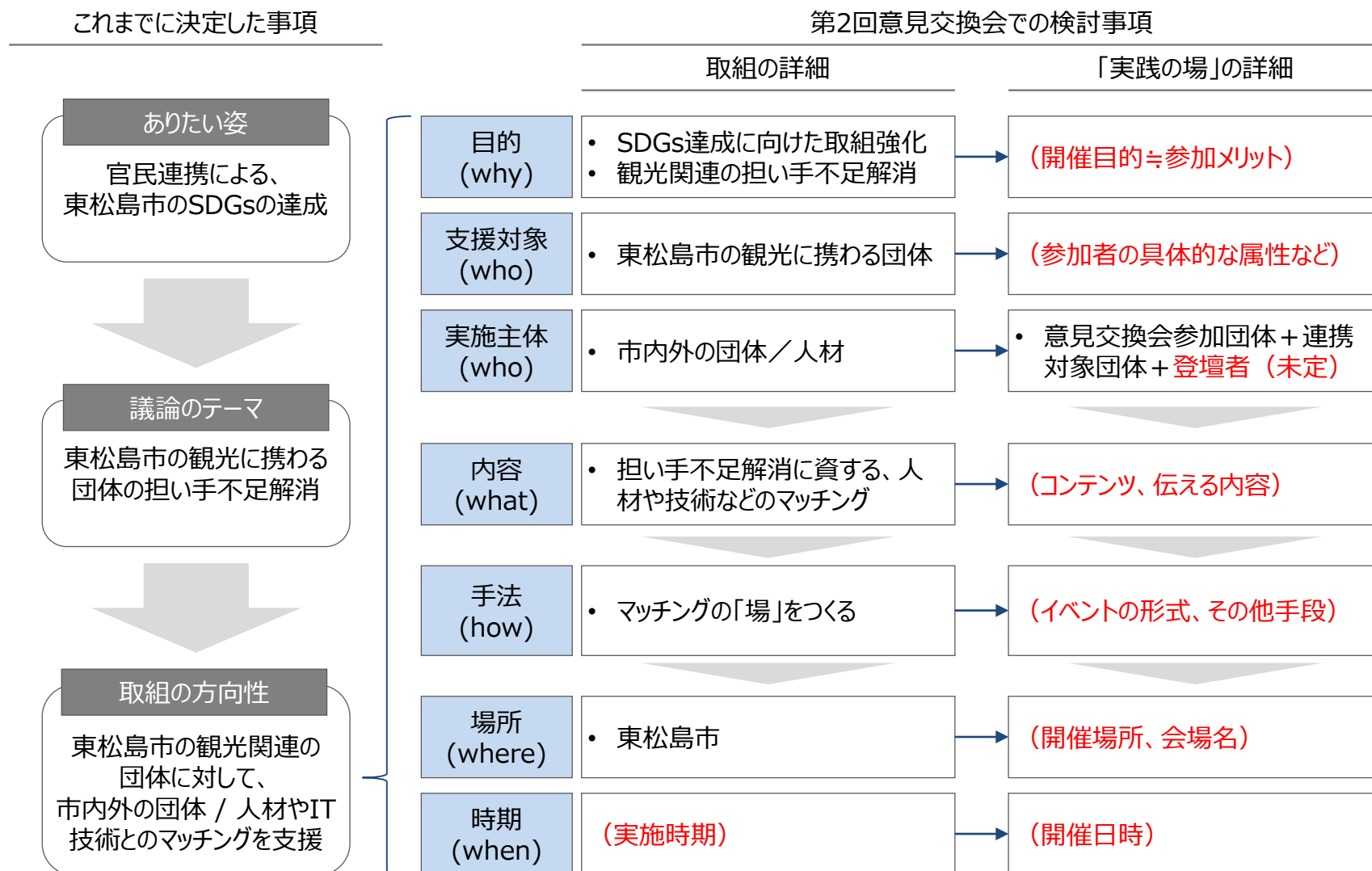
(開催日時)

● 岩手県意見交換会の検討事項 ― 例：経営層が抱える悩み

■ 経営層・次世代リーダーが抱える悩みの分類（支援対象者別、支援を受けていない理由別）

		支援対象者（経営層・次世代リーダーの分類）					取組内容（案）
		経営層			次世代リーダー		
		ベテランの 経営者	承継直後の 経営者	創業初期の 経営者	右腕人材	起業準備中	
支援を受けていない理由	相談相手が いない	✓ 他社への人材 流出防止 ✓ コンプライアンス 対応	✓ 承継に関わる 人間関係の問題	✓ 人材確保 ✓ 組織設計	✓ 承継に関わる 人間関係の問題	✓ 人材確保 ✓ 組織設計	同じ悩みをもつ経営層 又は克服経験のある 経営層との交流
	支援策・ 枠組みを 知らない	✓ 新規事業立案 ✓ 販路開拓	✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓	✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓	✓ 承継準備	✓ 事業計画策定	各経営層の状況に 合った支援策・枠組み の紹介
	支援策・ 枠組みの 対象外		✓ システム刷新	✓ 資金調達 ✓ 広報		✓ 資金調達 ✓ 広報	既存の支援策・枠組み の隙間を埋める新たな 支援の提供
	支援の必要 性に気づいて いない	✓ 雇用・労働条件 の見直し	✓ 雇用・労働条件 の見直し	✓ 雇用・労働条件 の見直し		✓ 自社の魅力の 客観的な分析	支援側が連携して経営 層に対して啓発
	・ ・ ・						

● 宮城県意見交換会の検討事項



※採用など「人」による対応だけでなく、技術や情報などの活用も含めた、人手不足解消の支援

※SDGsと本取組の関係性：取組自体がGoal #8, #12に関連し、また自然環境の保護・案内を担う団体も支援する意味でGoal #14, 15にも間接的に貢献

● 宮城県意見交換会の検討事項 — 例：旅行者のアクションから考える

■ 旅行者来訪時のアクション（支援対象の分野別に整理）

